



平成24年10月30日

各位

上場会社名 ツインバード工業株式会社  
 代表者 代表取締役社長 野水 重明  
 (コード番号 6897)  
 問合せ先責任者 取締役業務管理本部長 大坪 収  
 (TEL 0256-92-6111)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、第2四半期につきましては平成24年8月7日、通期につきましては平成24年4月27日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成25年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成24年3月26日～平成24年9月25日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,600	380	40	20	2.29
今回修正予想(B)	6,118	292	△62	△42	△4.92
増減額(B-A)	△482	△88	△102	△62	
増減率(%)	△7.3	△23.2	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	7,530	1,095	721	468	53.69

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年3月26日～平成25年3月25日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,000	1,080	880	470	53.85
今回修正予想(B)	12,600	500	130	50	5.73
増減額(B-A)	△3,400	△580	△750	△420	
増減率(%)	△21.3	△53.7	△85.2	△89.4	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	15,006	1,582	1,499	938	107.55

平成25年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成24年3月26日～平成24年9月25日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,550	400	60	40	4.58
今回修正予想(B)	6,062	310	△45	△25	△2.91
増減額(B-A)	△488	△90	△105	△65	
増減率(%)	△7.5	△22.5	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	7,523	1,110	737	484	55.54

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年3月26日～平成25年3月25日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,700	1,090	890	480	55.00
今回修正予想(B)	12,500	550	180	100	11.46
増減額(B-A)	△3,200	△540	△710	△380	
増減率(%)	△20.4	△49.5	△79.8	△79.2	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	14,916	1,609	1,524	964	110.52

#### 修正の理由

第2四半期累計期間につきましては、昨年の地上波デジタル移行に伴う需要先行の反動等により家電業界は家電デフレに陥り、前期において当社の売上高の約45%を占めている家電量販チャンネルがその影響を大きく受けております。ギフト販売、WEB販売、通信販売等は堅調に推移していますが、この家電量販チャンネルの落ち込みをカバーすることはできず、前回の業績予想より大幅に減少しております。利益面につきましては、当期は前連結会計年度末の為替予約時価評価益の戻入に伴う損失216百万円の影響を大きく受けるため、経常利益及び四半期純利益は損失計上となる見込みであります。

通期につきましては、下半期より多数の新製品を集中的に投入し業績の回復を図りますが、価格競争の激化により家電業界は引き続き厳しい環境が続くものと予想されることから、前期決算短信発表時(平成24年4月27日発表)に公表しました業績予想を大きく下回る見通しであります。この市場の変化に対応するため、さらなる調達コストの低減を図るとともに、一層の経費削減を実施し、収益を生み出す体制を築いてまいります。

以 上